

補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		バンビオ賑わい創出事業補助金							課内No.	1	
事務事業名		総合交流センター管理総合調整				担当所属名	総合交流センター				
②事業期間		始期	平成17	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	735
⑥根拠法令・規程		長岡京市バンビオ広場公園等賑わい創出事業補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		平成17年4月に本市の「新しいまち」バンビオが出会い・ふれあい・交流の場として誕生しました。当時は立派な施設がJR長岡京駅西口にできただけで利用者も少なく、バンビオ広場公園の利用も少ない状態で賑わいというには程遠く、中心市街地活性化が達成されたというには不満足な状態でした。そこで多くの市民が集まり、賑わいができるような魅力的な事業を推進することが求められていました。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		長岡京市バンビオ広場公園等賑わい創出事業実行委員会は地元商業者が中心となり、バンビオが誕生以降、市民相互の交流促進と周辺商業の活性化等を図るため、これまで年末のイルミネーションや7月の七夕祭り、8月のサマーナイトカフェ事業等に取り組んできました。特にイルミネーションについては開催回数を重ねるうちに雑誌などにも取り上げられ長岡京市の新しい名所として周辺の街にも知名度が広がり、バンビオの冬の風物詩としていまや欠かせないものとなっています。									
⑩補助金の目的		バンビオに関係する商業者等が自主的に実施する市民の交流促進を目的とした賑わい創出事業に対し、事業目的が公益性に優れていると思慮されるので、市がその経費の一部を助成するものです。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	長岡京市バンビオ広場公園等賑わい創出事業実行委員会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	年末のイルミネーション装飾事業や8月のサマーナイトカフェ事業等									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		賑わい創出事業(七夕祭り、サマーナイトカフェ、イルミネーション装飾事業等)によって、多くの市民の関心が得られることにより交流促進が図られ、ひいては総合交流センターの来館者が増え、市民の交流、文化的創造活動が促進されるとともに、中心市街地活性化の一助にもなります。									
金額(円)／年度		22年度決算		23年度決算		24年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	0		0		0					
	府補助金	0		0		0					
	その他補助金	0		0		0					
	一般財源	1,000,000		1,000,000		1,000,000					
	合計	1,000,000		1,000,000		1,000,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		0		0					
業⑭の団 財体 務又 内は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	4,267,694		3,801,312		3,900,000					
	繰越金	0		0		0					
	市の補助金の割合	23.4%		26.3%		25.6% %					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		バンビオ賑わい創出事業補助金		担当所属名(再掲)		総合交流センター		課内No.	1	
視点	点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない				はい					
	市において目的が類似した補助金がない				はい	-				
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある				はい					
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある				はい					
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている				いいえ	-				
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である				いいえ					
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある				はい	イルミネーション装飾に最も費用がかかっており、その実施が困難になります。				
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる				いいえ	-				
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる				はい	①新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出				
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。				はい	イルミネーション装飾・サマーナイトカフェの開催				
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である				いいえ					
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある				はい					
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている				いいえ					
⑰ 公平性	わかりやすい情報発信を行っている				はい	新聞・雑誌・広報長岡京・ホームページ・ポスター・地元広報板				
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)				はい					
	公募制度を導入している				いいえ					
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している				はい					
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)				はい					
⑱ 効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した				はい					
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)				はい					
	具体的に説明できる費用対効果がある				いいえ					
	補助金としての期限、終期を設定している				いいえ					
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施	他市町の事例		-					
⑳23年度の取り組み(昨年度)		賑わい創出事業(サマーナイトカフェ、イルミネーション装飾等)の実施 ※23年度については経費節減と事業集中化のため七夕祭りを中止。イルミネーションツリーの老朽化により、新しいツリーを買い替え、LED球を中心にした、よりエコに配慮した華やかなイルミネーションにリニューアルします。								
21)24年度の取り組み(今年度)		平成24年度は長岡京市市政施行40周年であり、賑わい創出事業においても協賛して賑わい創出事業を実施する。 ①イルミネーション装飾のイメージに新しいコンセプトを加えマンネリ化した装飾を一新する。 ②サマーナイトカフェ・イルミネーション点灯式のイベントを充実する。								
22)25年度の取り組み(来年度)		今後も継続して支援していく予定である。								
23)今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み		今後も継続して支援していく予定である。					
24)その他特記事項(留意事項など)		実行委員会が持っている基金は、毎年の事業実施で相当額の取り崩しにより減少していることから、新たな展開を模索する時期に来ている。								